

平成29年11月吉日

樟風中学校区 保護者の皆様へ

守口市立樟風中学校
校長 永井 竜二

樟風中学校区 携帯電話アンケートより

1. はじめに

昨今、青少年においてスマートフォンに代表されるインターネット機器によるトラブルが、LINE等のSNSを中心に多発し、大きな社会問題となっています。

樟風中学校区でも、これまでにSNS等への誹謗中傷の書き込み等からトラブルが発生しています。これらの状況を憂慮し、平成27年度より樟風中学生のインターネット機器使用の実態を把握するために、生徒と保護者を対象に携帯電話のアンケートを実施しました。また、守口市教育委員会の小中一貫教育推進の観点から、校区4小学校（三郷小・寺方小・橋波小・南小）の4年生から6年生までの児童・保護者も対象に加え、樟風中学校区内のインターネット機器の使用状況を把握することとしました。この平成27年度のアンケート結果からは、多くの課題が見られたため、本校生徒会執行部とPTAが協議し、「樟風中学校 携帯電話の使用ルール八箇条」を制定しました。この取り組みは、大阪府が主催する「適切なネット利用対策実践事例コンクール」において入賞し、また、平成28年1月20日付の産経新聞でも大きく取り上げられ、各方面で大変評価されています。

しかし、今年度のアンケート結果からも、樟風中学校区の児童・生徒のインターネットの使用状況については、まだまだ課題が多く見られることが分かります。

生徒のインターネットの使用については、これまでの取り組みを継続しながら、定期テスト（年間5回）ごとにインターネット等の使用状況を含むアンケートを実施し、生徒の関心を高める等、一層の改善に取り組んでまいります。ご家庭でも「樟風中学校 携帯電話の使用ルール八箇条」（6ページ参照）を再度ご確認くださいませよう、よろしく申し上げます。

2. アンケート調査について

(1)実施日：平成29年6月

(2)対象：校区4小学校の4・5・6年生児童と保護者、樟風中学校生徒と保護者

(3)見方について：アンケート結果は、特に気になる項目について昨年度と今年度を比較しています。

また、「全国平均」は、内閣府調査「平成27年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」の調査結果を参照にしています。

(H28年度アンケート調査について)

(1)実施日：平成28年6月

(2)対象：校区4小学校の4・5・6年生児童と保護者、樟風中学校生徒と保護者

3. 4 小学校のアンケート結果より

(1) 児童の回答より

番号	質問項目	H29 年度	H28 年度	年度比	全国平均
1	インターネット機器所有率	<u>75.2%</u>	<u>80.2%</u>	<u>-5.0%</u>	61.3%
2	スマートフォン所有率	29.6%	32.6%	-3.0%	23.7%
3	インターネットの使用時間（2時間以上）	36.3%	37.4%	-1.1%	27.2%
4	インターネットの使用時間（4時間以上）	<u>15.3%</u>	<u>13.8%</u>	<u>+1.5%</u>	6.8%
5	携帯電話の使用時間帯（22時以降）	10.9%	12.3%	-1.4%	
6	携帯電話の使用時間帯（0時以降）	2.0%	2.8%	-0.8%	
7	インターネット トラブル被害率	<u>44.1%</u>	<u>48.4%</u>	<u>-4.3%</u>	18.2%
8	*悪口や嫌がらせのメールを送られたり、書き込みをされたことがある。	<u>4.7%</u>	<u>5.5%</u>	<u>-0.8%</u>	1.1%
9	*悪口や嫌がらせのメールを送ったり、書き込みをしたことがある。	1.2%	2.2%	-1.0%	
10	*他人が見ることができる掲示板等で、自分や他人の情報を書き込んだことがある。	<u>1.2%</u>	<u>4.0%</u>	<u>-2.8%</u>	0.8%
11	*親に話しにくいサイトを見ることができる。	<u>2.7%</u>	<u>5.1%</u>	<u>-2.4%</u>	0.6%
12	*インターネットで知り合った人とメール等のやり取りをしたことがある。	4.5%	4.9%	-0.4%	3.5%
13	*インターネットにハマり勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたことがある。	<u>12.9%</u>	<u>13.8%</u>	<u>-0.9%</u>	4.0%

【課題】

昨年度と比較して、多くの項目で数値が減少していることがわかりました。まず「インターネット機器所有率」が大きく減少（80.2% →75.2%）していることが分かります。それに伴い「インターネットのトラブル被害率」に関しても、昨年度の48.4%から4.3%減少しており、所有率との関係性も見え、改善傾向となる結果となりました。

しかし改善されてきている一方で、依然として全国平均と比較すると、まだまだ数値が多い項目が多数あります。SNSなどの急速な発展もあり、これまでよりもインターネットを介して外部とつながることが安易になっている現状を知っておく必要があります。学力向上の観点からも、睡眠不足につながるような使用方法についても早急な課題解消が求められます。

(2) 児童と保護者の比較(*は「ルール取り決め」で「はい」と答えた児童・保護者を100%とした数値)

番号	質問項目	対象	H29 年度	H28 年度	年度比	全国平均
1	家族とのルール取り決め率	児童	67.1%	66.0%	+1.1%	73.7%
		保護者	60.6%	62.2%	-1.6%	88.7%
2	*利用する時間を決めている。	児童	58.1%	59.0%	-0.9%	43.1%
		保護者	60.5%	58.7%	+1.8%	48.8%
3	*困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている。	児童	46.2%	48.2%	-2.0%	24.3%
		保護者	55.0%	56.7%	-1.7%	43.3%
4	*課金の利用方法を決めている。	児童	35.8%	32.6%	+3.2%	18.9%
		保護者	45.5%	47.3%	-1.8%	29.2%

番号	質問項目	対象	H29年度	H28年度	年度比	全国平均
5	*利用する場所を決めている。	児童	<u>30.9%</u>	<u>29.6%</u>	<u>+1.3%</u>	30.9%
		保護者	<u>45.5%</u>	<u>41.8%</u>	<u>+3.7%</u>	51.1%
6	*パスワードや電話帳情報・位置情報等の情報がばれないようにしている。	児童	<u>43.4%</u>	<u>42.5%</u>	<u>+0.9%</u>	13.5%
		保護者	<u>30.0%</u>	<u>29.4%</u>	<u>+0.6%</u>	21.1%
7	*利用するサイトやアプリの内容を決めている。	児童	<u>30.0%</u>	<u>17.7%</u>	<u>+12.3%</u>	15.5%
		保護者	<u>36.5%</u>	<u>32.8%</u>	<u>+3.7%</u>	37.7%
8	*他人の悪口を書き込まない等、送信・投稿する内容を決めている。	児童	<u>25.7%</u>	<u>18.3%</u>	<u>+7.4%</u>	6.0%
		保護者	<u>32.5%</u>	<u>23.4%</u>	<u>+9.1%</u>	17.3%
9	*メールを送る相手を決めている。	児童	32.1%	32.9%	-0.8%	14.2%
		保護者	24.5%	21.4%	+3.1%	24.8%

【課題】

昨年度と比較して、児童と保護者共に約半数の項目で数値が増える結果となりました。「サイトやアプリなどの内容を決めている」事に関しても、危険性などの認知が進んでいることがデータ上からうかがえます。

しかし、特に気にかかる項目として、「家族とのルール取り組め率」で保護者の方で下がっている数値が出ました。他のアンケート項目において「児童のインターネットの使い方心配なことがあるか」との問いでも、「はい」と答えた保護者が24.5%（昨年度は26.1%）しかいない現状もあります。

児童の使用に関しては、保護者が現状を正しく把握し、インターネットの使用における児童の適切なルールを設定していけるように、ご家庭で話をする時間が必要かと感じています。

4. 樟風中学校のアンケート結果より

(1) 生徒の回答より

(*については、特に気になる項目のみを掲載)

番号	質問項目	H29年度	H28年度	年度比	全国平均
1	インターネット機器所有率	92.1%	91.8%	+0.3%	89.9%
2	スマートフォン所有率	78.7%	77.3%	+1.4%	45.8%
3	インターネットの使用時間（2時間以上）	48.6%	48.9%	-0.3%	46.2%
4	インターネットの使用時間（4時間以上）	15.0%	16.8%	-1.8%	14.9%
5	携帯電話の使用時間帯（22時以降）	<u>43.7%</u>	<u>51.2%</u>	<u>-7.5%</u>	
6	携帯電話の使用時間帯（0時以降）	8.7%	9.8%	-1.1%	
7	インターネット トラブル被害率	<u>67.2%</u>	<u>63.3%</u>	<u>+3.9%</u>	33.4%
8	*悪口や嫌がらせのメールを送られたり、書き込みをされたことがある。	7.9%	7.1%	+0.8%	3.1%
9	*悪口や嫌がらせのメールを送ったり、書き込みをしたことがある。	2.8%	1.7%	+1.1%	1.6%
10	*他人が見ることができる掲示板等で、自分や他人の情報を書き込んだことがある。	4.0%	2.3%	+1.7%	2.8%
11	*親に話しにくいサイトを見ることができる。	5.9%	3.4%	+2.5%	1.9%
12	*インターネットで知り合った人とメール等のやり取りをしたことがある。	<u>16.4%</u>	<u>13.3%</u>	<u>+3.1%</u>	8.2%

番号	質問項目	H29年度	H28年度	年度比	全国平均
13	*インターネットにハマり勉強に集中できなかったり、睡眠不足になったりしたことがある。	<u>22.9%</u>	<u>20.7%</u>	<u>+2.2%</u>	12.2%

【課題】

昨年度と比較して、インターネット機器所有率に関しては微増の結果となりましたが、インターネットの使用時間・使用時間帯に関しては減少の結果がでており、改善傾向にあると考えられます。特に、22時以降から0時までの時間帯の利用者が7.5%も減少しており、「樟風中学校 携帯電話の使用ルール 八箇条」に記されていることが少しずつ浸透していることも考えられます。

しかし、依然としてインターネットトラブルの被害が多い数値(63.3% →67.2%)が出ております。保護者が生徒の現状を把握することがトラブルを未然に防ぐことにつながります。さらには、学校と保護者が一層協力・連携していく必要もあると考えます。

(2)保護者の回答より

番号	質問項目	H29年度	H28年度	年度比	全国平均
1	青少年インターネット環境整備法(法・責務・義務)いずれかを知っている率	<u>85.2%</u>	<u>79.6%</u>	<u>+5.6%</u>	57.4%
2	「樟風中学校 携帯電話の使用ルール八箇条」を知っている率	75.6%	74.7%	+0.9%	
3	フィルタリングをかけている率	58.4%	53.9%	+4.5%	
4	子どものインターネット使用を心配に思う率	<u>31.0%</u>	<u>33.5%</u>	<u>-2.5%</u>	

【課題】

「青少年インターネット環境整備法」の存在や、保護者の義務・責務については「いずれかを知っている」が、昨年度より数値(79.6% →85.2%)が増えており、意識が高くなっていることがうかがえます。しかし、昨年度同様に「樟風中学校 携帯電話の使用ルール 八箇条」が、「青少年インターネット環境整備法」を下回った認知率しかないため、「樟風中学校 携帯電話の使用ルール 八箇条」についても普及させていく取り組みを考えていきたいと思えます。

「子どものインターネット使用を心配に思う率」が低いことは、小学校と同様の結果となりました。今後も、生徒がインターネットを使用する際の様々な危険性について、学校・保護者が認識し、注意して見ていく必要があります。

(3)生徒と保護者の比較(*は「ルール取り決め」で「はい」と答えた生徒・保護者を100%とした数値)

番号	質問項目	対象	H29年度	H28年度	年度比	全国平均
1	家族とのルール取り決め率	生徒	58.1%	57.2%	+0.9%	65.1%
		保護者	<u>76.5%</u>	<u>76.2%</u>	<u>+0.3%</u>	85.5%
2	*利用する時間を決めている。	生徒	55.1%	57.3%	-2.2%	30.6%
		保護者	<u>45.2%</u>	<u>41.6%</u>	<u>+3.6%</u>	40.0%
3	*困ったときはすぐに保護者に相談するように決めている。	生徒	42.2%	40.7%	+1.5%	21.9%
		保護者	51.5%	52.4%	-0.9%	45.3%
4	*課金の利用方法を決めている。	生徒	38.7%	39.6%	-0.9%	8.9%
		保護者	<u>51.8%</u>	<u>50.6%</u>	<u>+1.2%</u>	37.5%
5	*利用する場所を決めている。	生徒	23.7%	18.4%	+5.3%	13.2%
		保護者	25.0%	25.7%	-0.7%	43.0%

番号	質問項目	対象	H29年度	H28年度	年度比	全国平均
6	*パスワードや電話帳情報・位置情報等の情報がばれないようにしている。	生徒	31.0%	32.4%	-1.4%	12.4%
		保護者	<u>25.3%</u>	<u>21.2%</u>	<u>+4.1%</u>	19.9%
7	*利用するサイトやアプリの内容を決めている。	生徒	15.0%	19.2%	-4.2%	18.0%
		保護者	28.3%	29.4%	-1.1%	26.9%
8	*他人の悪口を書き込まない等、送信・投稿する内容を決めている。	生徒	19.2%	23.3%	-4.1%	22.1%
		保護者	<u>42.2%</u>	<u>39.8%</u>	<u>+2.4%</u>	28.2%
9	*メールを送る相手を決めている。	生徒	12.5%	13.9%	-1.4%	23.7%
		保護者	<u>14.2%</u>	<u>10.8%</u>	<u>+3.4%</u>	16.8%

【課題】

家族とのルール取り決め率の数値が、昨年度より増加している結果となりました。全国平均と比較すると、まだまだ課題が見られるものの、生徒のルールへの意識は向上していることが見られます。昨年度は保護者の項目が低下しているものが多くありましたが、今年度は6項目で増加の結果が出ました。

しかし、生徒と保護者の間で結果に差が出ているものもあり、認識に差があるのではないかという点が気になります。まずは SNS などの利用の状況について現状を把握し、ご家庭での取り組みをより意識していく必要があると考えます。

6. 総括

(1) 4小学校の結果より

今年度のアンケート結果では、4小学校の数値からは改善されてきている結果が多く見受けられました。これは、昨年度までのことを意識して変えていこうとされているご家庭が増えていると考えられます。しかし一方で、全国平均と比較すると依然として課題があります。今年度の4小学校の小学6年生のスマートフォン所有率が44.1%であるのに対し、中学1年生のスマートフォン所有率が73.9%となっています。同様にインターネットに繋がる機器の所有率も増加しています。中学校入学時にスマートフォンなどを買ったり、新しく替えたりするご家庭が多いことが推察されます。

このような結果からスマートフォン契約時に、保護者と子どもが使用ルールを取り決めることが重要であると考えます。今後は4小学校の保護者の方にも「樟風中学校 携帯電話の使用ルール 八箇条」を認知していただき、児童がスマートフォンに買う際、保護者に「樟風中学校 携帯電話の使用ルール 八箇条」を参考にして、適切なルール設定を取り決めていただけるように、4小学校とも小中一貫教育推進の理念に沿って協力体制を築いていきたいと考えております。

(2) 中学校の結果より

中学校においては、昨年度と同様な結果が多くみられました。改善されている項目がある中、インターネットトラブルの被害を経験している生徒は増加傾向にあり、まだまだ課題が残ります。80%近くの生徒がスマートフォンを所有している本校の現状としましては、生徒自身が自らの身を守っていく必要があります。保護者とともに採択した「樟風中学校 携帯電話の使用ルール 八箇条」を遵守させていくことはもちろんですが、興味本位で様々な情報にとびつくのではなく、その中から正しいものを選択していける力をつけてほしいと考えます。その為にも、保護者が現状を把握して使用のルールについても再度確認していくことで、今後の成長につながると共にご家庭でのコミュニケーションにもいかされていきます。継続して取り組み続けることにより、今後の樟風中学校区の今年度以上の改善も可能ではないかと考えております。

宣 言 書

守口市立樟風中学校では、「誰もが安全に安心して暮らせる学校づくり」の実現を目指す上で、近年の携帯電話使用についてのトラブル状況を憂慮し、全生徒の総意をもとに生徒会執行部と PTA 役員が協議し、以下に掲げる 8 項目を取り決めた。

今後は、携帯電話の使用に際して、全生徒が 8 項目を遵守できるように生徒と保護者がともに取り組み、教職員が支援することを、ここに宣言する。

《樟風中学校 携帯電話の使用ルール 八箇条》

- 一. 大切なことは直接会って話をする。
- 一. 問題があったら、すぐに周囲の人に相談する。
- 一. SNS 等に人が不快になるようなことを書かない。
- 一. 人の画像や個人情報を勝手に載せない。
(相手の人権・プライバシーを守る)
- 一. SNS 等を使うときはよく確認してから使う。
(チェーンメールを回さない)
- 一. 夜 10 時を越えたら使わない。
(テスト期間中は緊急時以外使わない)
- 一. ながらスマホをしない。
(歩きながら・自転車に乗りながら・食べながら・話しながら・勉強しながら)
- 一. 保護者にフィルタリングをかけてもらう。
(危険なサイトを開かない)

※ 平成 27 年度、本校生徒会と PTA、教職員が協議し作成しました。